

第641回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和4年8月23日（火） 9時30分～11時36分

開催場所 福崎町役場 3階 第1委員会室

出席委員 高橋渉、桑谷祐顕、井奥智子、中田貴子、西村照明

事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、640回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として井奥委員・中田委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校（7月の様子）

コロナで職員が休んだ場合、園長が保育に当たっているとの報告を受けました。職員が複数名陽性等になれば休園しなければならないので、非常に気を使っているという報告でした。また、お楽しみ会などの行事を中止にしたこともありました。そんな中でも水遊びは、毎日して楽しんでいるとのこと。

また、病院ではなかなかPCR検査を実施してもらえない、家族に陽性の罹患者が出た場合は速やかに園に一報をいれられるよう通知をしているにも関わらず、なかなか園に連絡してくれない保護者がいる、教育委員会への要望としてリアルタイムで小中学生の感染状況を知らせてほしい等、コロナ関連の報告や要望を受けました。

小学校、中学校については、高岡小からは、児童指導上の課題、問題は特にありません。自然学校の引率教員が、現在複式学級の担任になっているので、時間割に苦慮するとの報告を受けました。

福崎小からは、駅前観光交流センターから「使い方が悪いので、正しい使い方を指導してほしい」との依頼がありましたので、公共施設の使い方を指導をしました。また、校庭のイチョウなどの樹木の葉っぱが落ちて、近隣へ迷惑をかけているので、教育委員会で確認しました。造園業者では剪定するには無理があるほど高木になっていますので、森林組合に依頼する予定ですめています。

田原小学校からは、児童指導の上の課題は特にありません。プールのフェンスやオーバーフロー管の不良、受水槽の送水管のバルブの不良、校舎南側の庇の露筋、職員室のエアコンなど、緊急に対応する必要がある故障が集中してありましたので、臨機に対応しました。

八千種小からは、コロナに関しては、7月4日に3・4年生を学級閉鎖しましたが、それ以降の拡大はありません。また、通学路にスズメバチの巣があったので、一時、通学路を変更したという報告を受けました。

西中からは、7月のコロナ陽性者が25名、不登校生が23名で前月よりも4名増えました。陸上競技部の宮内綾花さんが県大会2種目で優勝、近畿大会では四種競技で優勝し、全国大会で4位に入賞しております。

東中からは、7月のコロナ陽性者が28名あったので、部活動を7月後半から8月1日まで中止にしました。不登校生が16名で前月よりも1名増えました。部活動では、ソフト部と野球部が中播大会で優勝して、県大会ではいずれも3位になっております。なお、中播大会が平日開催で、授業が成り立たず苦慮しているという報告

を受けています。

共通として、コロナ感染の児童生徒が7月は非常に多く、また、不登校生が増加しています。非常に心苦しいところです。

学童保育園の7、8月の様子として、熱中症対策として、東部学童保育園の園庭には大きな木が何本かあるので、この木陰がありがたいとのこと。また、職員への遵守事項として、園児の前での私語、教室への携帯電話の持ち込みなど、適時指導しているという報告を受けました。また、換気をしながらの空調になるので、エアコンの効きが悪く、暑かったという報告もありました。なお、コロナ感染による欠席者については、東部では多い日で4名のところ、西部は22名の日がありましたが、これは、家族由来のもので、学童内での感染ではありません。また、夏休みのみ学童へ来る児童の対応として、指導員数を増やすのですが、例年のことではありませんが、午前中の勤務を希望される方が多く、午後の人員配置等、運営に苦慮したという報告を受けました。

(2) 連絡・報告事項

① 郡内の教頭希望者

来年度の管理職選考試験をしましたが、必要見込人数が8名のところ、希望者が6名しかいませんでした。そこで、教育長会で話をして再任用校長を1名おくことにしました。もう1人は、教育事務所の指導主事や姫路市等の近隣の郡市からの配置をお願いしております。管理職の希望が少ないのは、我々教育委員会事務局や教育長の責任が大きい、教頭に多くの仕事を与え過ぎて、あんなしんどいなら、嫌やという教員が多いのかと考えています。

② サマースクール

恒例の夏休みのサマースクールについては、4～6年生の希望者が対象で、1週間程度、夏休みの宿題を中心に学習し、今年度は68名が参加してくれました。小学校区ごとに日程を設定し、福崎小17名、高岡小14名、田原小15名、八千種小22名でした。

③ 柳田國男検定

山桃忌に併せて、8月7日に実施しました。初級は16名受験し9名合格、中級は10名受験し6名が合格、上級は8名受験し2名が合格という結果です。また、表彰式を近々する予定です。

(3) 学校行事等

① 中学校の体育大会9月10日、小学校の運動会9月17日に実施します。来賓は、町長、副町長、教育長、町議会議員の少人数とし、従来の方法で全学年一斉、午前中開催としています。参観は保護者、家族等のみとし、感染防止対策と熱中症対策を徹底して行う予定にしております。

(4) 検討事項

① 令和5年度使用教科用図書の採択について

資料に基づき協議しました。小学校中学校とも令和5年度も同じものを使用することとしました。

② 福崎町民生委員推薦会委員について、西村照明委員を推薦することとしました。

(5) 高校の統廃合について

8月19日に福崎高校と夢前高校の「検討委員会」を関係者で実施しました。詳しくは報告事項で説明します。

- (6) 9月の主な予定
資料に基づき報告しました。

(桑谷委員) 例年8月の教育委員会には、教科書選定があつたのですが、今回は、新しい採択本がなかったということで、紙面による協議になりました。以前から思っていたことですが、現場で教科書を使用されている先生の意見、使った感想等、教科ごとの研究会などで集約されているのですか。

(高橋教育長) 決めるときには、現場の専門の先生に加えて校長が教科書を見て評価したのち、神崎郡教科書採択委員会で研究して決めます。現場の先生の意見を取り入れることで、実際利用した際の良い点悪い点が明確になり、採択委員会の際の判断材料にもなりますので、使用した途中経過を確認する機会を設けられないか、教育長会で確認しながら検討したいと思います。

4 協議事項

- (1) 令和5年度使用教科用図書の採択について、教育長報告により協議しました。
(2) 福崎町民生委員推薦会委員について、教育長報告により協議しました。

5 報告事項

<学校教育課>

- (1) 高校の統廃合について

資料に基づき報告しました。中播磨管内では、福崎高等学校と夢前高等学校の組合せと、姫路南高等学校、網干高等学校、家島高等学校の組合せがあります。発展的統合に向けた検討委員会が、組合せごとに設置され、対象校の特色ある教育活動の継承発展や、特色ある学科等の設置などについて議論することになっています。

今後の発展的統合のスケジュールは、学校関係者からの意見聴取等を行い、今年12月末までに想定する高校の設置場所の発表、令和5年12月末までに学校名や設置場所、設置学科などが決定、令和7年の4月から開校となります。

次回の発展的統合検討委員会は、9月1日に夢前高校で開催されます。

(桑谷委員) 教科を教える先生が少ないから、特定の教科を教えられない状況になるというのもよくわかります。また、その他の事務的なことの一人あたりの負担も当然増えることとなります。それから、クラブ等の選択肢が減るうえ、指導者の不足や専門性が求められるのにそれに応えられない。つまり、生徒たちが不利益を被る機会が多くなっている現状にあることもわかりました。

併せて、中学校の部活動についておたずねしますが、生徒は、いずれかの部活動に所属していると思いますが、中学校の部活動ではなく、地域のクラブチームに所属して、学校の部活動には所属していない生徒もいるのですか。また、体育大会の際の部活動行進など、どのような対応をされているのですか。

(高橋教育長) 現状は、クラブチームへの参加は認めており、学校の部活動に入部しないことも認めております。また、それ以外にも、体調が悪くなくドクターストップがかかっている生徒もいます。以前は全員入部制でいずれかに属していましたが、今はそうではありません。

学校以外の種目では、野球、柔道、剣道、水泳等があります。また、合同チームとして、福崎西中の男子生徒が福崎東中の男子バレー部に入って、試合にも出

場しています。加えて、詳細な運営方法については今検討中ではございますが、令和5年度からクラブチームも中体連の大会に出場することができるようになるかと聞いております。

体育大会の際の部行進については、校長先生の判断によりますが、クラブチームに所属している生徒は、部行進には参加していません。

(2) 入札結果について

資料に基づき報告しました。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。

(4) 中学校総合体育大会の結果について

資料に基づき報告しました。また、8月19日に神戸市で開催された数学理科甲子園ジュニア2022に、福崎東中学校の生徒3人で構成する「チーム東中」が参加し、県内私立中学校を含む67チーム中、見事1位となり、全国大会に進みます。全国大会は、12月2日から4日にかけて、姫路市文化コンベンションセンターアクリエ姫路で開催され、兵庫県1位の福崎東中学校と2位の兵庫県立大学附属中学校の合同チームとして、両校の6人で出場します。

(5) その他

- 1) 9月定例議会提出議案について、9月30日に任期満了となる井奥委員の再度の任命につきまして、議案を提出する予定としております。

<社会教育課>

(1) 山桃忌・柳田國男検定について

資料に基づき報告しました。シンポジウム等の様子は8月16日から、ウェブ配信をして「民俗学のふるさと福崎」を全国に発信しています。

(2) サマースクールについて

資料に基づき報告しました。八千種小学校区のサマースクールについて、7月25日から29日までの5日間、八千種県民交流広場で開催しましたが、参加者していた児童7名がコロナに感染したことが判明しました。感染対策を実施しながらの開催ではありましたが、複数の感染者が確認されましたので、サマースクールの事務局から、参加者全員のご家庭にその状況報告と経過観察をお願いしました。

(桑谷委員) 校区ごとの参加人数について、児童の多い福崎小や田原小学校が比較的少なく、児童の少ない高岡小や八千種小の方が多いです。これは、塾に通っているから行かないのか、それとも、そんなに必要ではないとの判断でよいのか。参加者の少ない校区からその理由を何かお聞きになっていませんか。ウィンタースクールも同様ですか。

(木ノ本課長) いったん申し込んでからのキャンセルがあったと聞いています。

(高橋教育長) 福崎小学校、田原小学校は、普段利用していない施設であることも参加者が少ない原因の一つではないかと考えます。また、ウィンタースクールについても、同様の人数だったと認識しています。

(中田委員) 目的がわかりにくいという声を聞きました。夏休みの宿題をする、何か

をするといった明確なものがないからではないでしょうか。
(高橋教育長) 目的の明確化、会場の変更等、参加者が増える方策を考えます。

(3) 文化財保護活用地域計画について

資料に基づき報告しました。令和2年度から取り組んでいた計画が、令和4年7月22日に開催された国の文化財審議会において、文化庁長官の認定を受けることができました。この計画は、全国で78市町の計画が認定されており、神崎郡内では神河町が認定を受けておられます。

この福崎町文化活用地域計画は、福崎町内の歴史・文化遺産を総合的には保存活用を図るための計画で、令和4年度から令和10年度までの方針や取組をまとめております。

今後のスケジュールは、自治会ごとの歴史文化遺産の所在や内容の資料の確認を行っていただき、今年度末に資料編を取りまとめる予定です。

(4) 入札結果について

資料に基づき報告しました。

(5) 今後の予定

資料に基づき報告しました。

(桑谷委員) 今、福崎西中周辺で発掘調査が行われていますが、小中学校が見学会等をする計画はありませんか。あのあたりは風土記にも記載のある地域であるうえ、遺跡が生きた教材、発掘調査は職業見学の一環になると思いますし、地元に残りたいと思えるきっかけにもなるのではないのでしょうか。

(高橋教育長) 福崎西中学校には、見学を薦めます。非常に良い提言をいただきましてありがとうございます。

(中田委員) 認定こども園に子どもが通っている保護者の方から、3歳以上になるとご飯を家から持って行くが、たとえ保育室は空調が効いているとは言え、日中の温度を考えると、衛生的に大丈夫か心配していると言われていました。主食のご飯を学校給食として提供できないのですか。

(大塚課長) 運営側の教育委員会として、主食のご飯を提供する義務はなく、副食のおかずだけを出せばいいことになっています。これを主食のご飯を提供するとすると、お茶碗の購入、ご飯を納入している業者との調整と食管の購入と提供、加えて給食費の調整が必要になってきます。

実は、2年ほど前にも議会議員からも同じようなご提案があったのですが、その際、まずはアンケート等、利用者の声を聞いてから対応していこうかと思っておりますが、それ以後、直接にそのようなことを聞いていませんでしたので、そんなに必要がないのかなとも思っていました。

また、保護者アンケートをとるに際しても、町の方針をきっちりと決めてから行わないと誤解を招きます。

本日、提言をいただきましたので、再度、前回議論したことを続けてみようと思っております。

(中田委員) 土曜日に業者から納品されているおかずについて、その中身が粗悪であると聞いていますが、そうなんですか。

(大塚課長) 1年ほど前まで、土曜日給食は、バナナ、パン、ゼリー等、地元業者が

納品されていましたが、それも各園長から好ましくないとのことで変更した経緯があります。

現在納品されている業者は、姫路市、市川町でも納品されていますし、試験導入を経たうえで判断し、導入した経緯があります。

また、議会の一般質問にもまして、当の議員さんも視察された結果、わるい評価ではありませんでした。

教育委員会としては、良いものを1食155円の範疇で提供したいと考えています。

今後、このようなご意見が多くなってくると、一考いたしますが、現在、平日の調理等は全て業者委託していますので、土曜日給食を導入するとすると業者との交渉、財政面での庁内での協議を伴います。

今しばらく、様子を見させていただきたいところです。

(大塚課長) 給食費を値上げすることに関しましては、どのようにお考えでしょうか。

(桑谷委員) 誰もが予測できなかったほど物価が上がっている状況で、メニューの工夫等、職員の努力でできることとできないことがあります。見直す時期に来ているのではないのでしょうか。

(西村委員) 複数回にわたり値上げをすることは反対ですが、前もって保護者に説明をされたうえで対応されてはいかがでしょうか。

(大塚課長) どうしても給食費の見直しをする必要が出てきた場合には、色々な要素、例えば、幼稚園のご飯の提供、日数の増、土曜日給食等を含めた内容と物価高による月額増というものを示して説明したいと思います。

(高橋教育長) 今後、いろいろと考えていく必要があります。給食費の値上げについては、慎重に議論したいと思います。

6、閉会

以 上

署名委員 井 奥 智 子

署名委員 中 田 貴 子